



## 目 的

- ・ 県、市町、NPO 等の職員参加のもと、多様な主体の協働による政策づくりや実施の手法を学び、参画と協働による課題解決力の向上を図る。

## ね ら い

- ・ 協働の意義と各主体の役割を認識する。
- ・ 協働による政策づくりのプロセスや手法を学ぶ。

## 会 場

### 兵庫県自治研修所

〒655-0872

神戸市垂水区塩屋町 5 丁目 3 番 1 号

(TEL)078-752-1321



### こんな方におすすめ！

- ◇ 協働による課題解決力の向上を図りたい！
- ◇ 自 NPO の活動内容を広めたい！
- ◇ 行政・他 NPO とのネットワークを作りたい！
- ◇ ファシリテーション能力の向上を図りたい！

## 日 時

平成 29 年 12 月 7 日 (木)

～ 12 月 8 日 (金) (1 泊 2 日)

## 受 講 料

無 料

## 対 象

以下の所属の若手職員 (20 代～40 代)

- ・ 県内 NPO 等
  - ・ 兵庫県
  - ・ 神戸市
  - ・ 県内市町
- 各 10 名程度



### 昨年度の受講者の声

- ◇ 普段話す機会のないメンバーと、1つのものをつくり出すプロセスが発見の連続だった。
- ◇ 色々な立場の人と議論ができ、新しい視点を持つことができた。
- ◇ 多彩なメンバーと交流でき、刺激が多かった。

## 日 程

	9:00	9:30	11:00	11:15	12:45	13:45	17:45	
1 日目	開講 OR	協働の意義と 各主体の役割 (1.5h)		協働による政策形成の 事例研究 (5.5h)		昼食 (1h)	同左	合 宿
2 日目	協働による政策形成演習 (7.5h)				昼食 (1h)	同左	閉 講	
	9:00			12:00	13:00		17:30	17:45

## カリキュラム

### 協働の意義と各主体の役割

兵庫県立大学教授 内平 隆之

行政、住民、NPO、大学等の各主体による協働や連携の意義を学ぶとともに、それぞれに求められる役割を認識する。

#### 【内容】

- ・ 社会環境の変化
- ・ 協働・連携の意義
- ・ 各主体に求められる役割

兵庫県立大学環境人間学部 エコ・ヒューマン地域連携センター センター長代理、同大学准教授を経て、平成 28 年 10 月、同大学地域創造機構教授に就任。神戸大学工学部在学中に阪神・淡路大震災を経験して以来、大学から地域に飛び出して、大学と地域が連携して取り組むさまざまな研究・教育・社会貢献の現場で奮闘。その経験やノウハウをいかし、大学と地域をつなぐ仕組みづくりを実践的に研究中。地域の資源を活用した地域連携プロジェクトを手がけている。

## 協働による政策形成の事例研究

(特非)プラス・アーツ理事長 永田 宏和

先進事例から、課題解決のための、協働による政策づくりのプロセスや、実施にあたってのポイントを理解し、必要とされる手法を学ぶ。

### 【内容】

- ・ 先進事例の紹介
- ・ 多様な担い手による協働の場づくり
- ・ 協働による政策形成のプロセスとポイント

企画・プロデューサー。株式会社iop 都市文化創造研究所代表、NPO 法人プラス・アーツ理事長、デザイン・クリエイティブセンター神戸【KIITO】副センター長。現在、「+クリエイティブ」をコンセプトに、防災や観光、まちづくりといった様々な分野の社会課題解決に取り組む。企画・プロデュースの仕事に、都市キャンペーン型アートイベント「水都大阪 2009・水辺の文化座」、楽しく学ぶ防災訓練プログラム「イザ！カエルキャラバン！」(2005年～)、子どもがつくる子どものための夢のまち「ちびっこうべ」(2012年、2014年、2016年)、などがある。TBS「情熱大陸」、日本テレビ「世界一受けたい授業」出演。

## 協働による課題解決演習

グループワークを通じて、協働による政策手法を習得し、課題解決力の向上を図る。

(株)博報堂ディレクター 船木 成記

(特非)ブレイン・ヒューマンティール理事長 能島 裕介

東京都出身。専門はソーシャル・マーケティング。現在、尼崎市顧問、長野県参与(信州総合ブランディング担当)、高知大学客員教授。1989年(株)博報堂入社後、企業のマーケティング実務に携わる。その後、2005年愛・地球博や環境省チームマイナス6%、内閣府カエル！ジャパン(WLBの推進)などの社会的事業に数多く関わる。2007年9月より2年間、内閣府男女共同参画局政策企画調査官。地域づくり、ブランディング、ソーシャルビジネスやNPO等のソーシャルセクター支援、協働取組の推進等が主な守備範囲。H25年度から環境省協働取組事業アドバイザーメンバー。

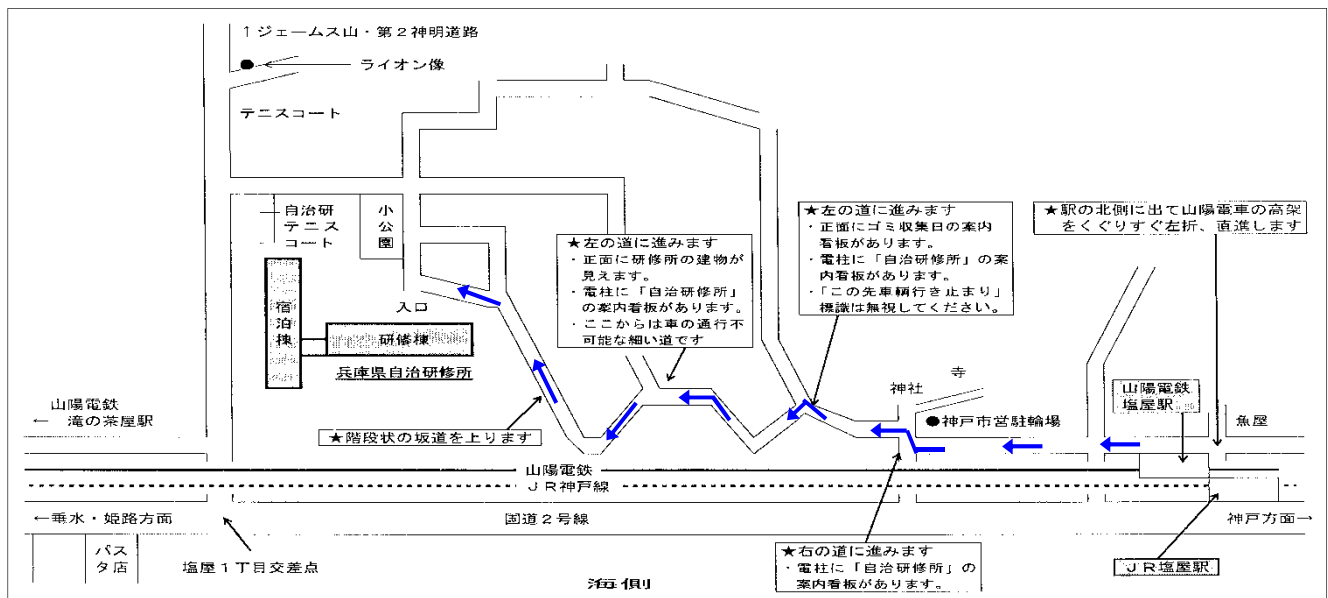
神戸市生まれ。関西学院大学在学中に阪神・淡路大震災で被災した子ども達の支援活動に従事。大学卒業後、株式会社住友銀行に入行。同行を退職後、学生時代に行っていた活動をNPO法人化し、NPO法人ブレイン・ヒューマンティール理事長に就任。950名以上の大学生ボランティアを主体としながら青少年を対象にした野外活動、国際交流活動、不登校支援活動、子どもの貧困支援活動などを展開。現在、兵庫県立大学客員教授、尼崎市企画財政局参与、尼崎市教育委員会事務局参与、尼崎市学びと育ち研究所副所長なども務める。

## 持ち物

筆記用具、ノート、印鑑、事前課題

【合宿用】石けん・シャンプー、洗面用具、タオル・バスタオル、着替え

## 会場アクセス



【問い合わせ】兵庫県自治研修所 (TEL) 078-752-1321